大館北秋田地域林業成長産業化協議会
再造林推進部会　苗木生産者会議

協議記録

日時：令和３年１月８日（金）１５：００～１７：００

会場：大館市役所　本庁２階　第１会議室

大館北秋田地域林業成長産業化協議会　再造林推進部会　苗木生産者会議　出席者名簿

大館北秋田地域林業成長産業化協議会会員

番号	区分	所属	役職	氏名	備考
1	苗木生産者	㈲伊東農園	代表取締役	伊東　毅	部会長
2		山一林業㈱	代表取締役	松橋　誠	
3		黒澤苗畑事業所	代表	黒澤　良勝	支部長
5		三浦農園	代表	三浦　惣弘	
6		渡部種苗園	代表	渡部　義直	
7		錦木ワークセンター	杉苗担当	柳澤　純一	
			主任生活支援員	工藤　孝弘	
8	市村	大館市	林政課木材産業係主査	赤坂　祐幸	
			林政課木材産業係主任主事	千葉　泰生	
9		北秋田市	副主幹	藤田　学	
			主事	長岐　英泰	

大館北秋田地域林業成長産業化協議会委託事業者

番号	名称	役職	氏名	備考
1	森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社	代表取締役	高田　克彦	

【R03.01.08 再造林推進部会　苗木生産者会議】

　再造林推進部会苗木生産者会議では、「苗木生産マニュアルの作成」について協議を行いました。

【協議内容】

（１）苗木生産マニュアルについて

<森林資源バイオエコノミー推進機構㈱>

〇マニュアル作成用紙の記入方法等の説明

・各事業者の育苗方法を書いてもらい、後日、まとめたうえで意見交換の場を設けたい。
・今回は樹種をスギに限定したマニュアルを作成する。

〇意見交換

・今も裸苗メインの事業者もいるが、将来的にはコンテナ苗へシフトしていくだろう。
・普通苗は経験が必要であり、作業員の減少と高齢化により衰退していくと考えられる。
・大苗を使う理由は、下刈りの手間と食害を減らしトータルコスト下げるため。下刈りを毎年行うにはお金が掛かり過ぎる。
・感覚的に普通苗よりコンテナ苗の方が柔らかく、食害を受ける期間が長いと感じる。
・育苗の基本は他県でも同じだと思うが、雪国は雪国なりの一手間がある。
・再造林は必要だがどこでもスギではいけない。植えるなら里山が良い。
・苗木生産者として、良品質の苗木を提供していくことが低コスト化にも繋がる。

３　その他

・次回会議は事務局で日時決定し連絡する。

～閉会～

大館北秋田地域林業成長産業化協議会　R3.1.8　再造林推進部会苗木生産者会議